



令和4年8月26日

DF 会員の皆様

DF 環境部会

環境教育分科会リーダー 中西 聡

### 第5回 DF 環境サロンのご案内

前回は「海洋プラスチック問題」をテーマに、ビジネスの裏話などもあり大変有意義なサロンでした。参加者には改めてお礼申し上げます。さて、今回のサロンは海から山へ目を転じ、「森林問題とグリーン成長」がテーマです。

国土の約3分の2が森林である日本は世界有数の森林大国です。しかしながら、近年の林業産出額は約4500億円（約半分は栽培きのこ）前後で推移し、ピーク時の1兆2000億円（1980年）から大きく減少している。林業産出額の減少は、1964年の木材輸入自由化により安い外材の輸入が増加し、国産材の供給量が大きく減少したことが原因である。

（1965年：57百万 $m^3$ 、2002年：17百万 $m^3$ ）これに伴い、林業従事者も14.5万人（1980年）から4.5万人（2015年）へと大きく減少している。

しかし、林業の衰退は「安い外材に負けた」という単純な構図ではなく、林地台帳の整備、森林経営管理の集積・集約化、木材流通の効率化など、政策・経営面での改革の遅れが根底にある。

2002年に底を打った国産材の供給量はその後上昇傾向で推移し、2020年には31百万 $m^3$ になった。増加の理由は輸入木材の価格高騰、国産間伐材を利用した合板の増加、木質バイオマス発電用燃料材の需要増などが挙げられる。

昨年閣議決定された森林・林業基本計画は、2030年の国内の木材生産量を42百万 $m^3$ と設定した。2019年からの供給量増加目標の内訳は、製材用材：13→



尚、コロナ感染予防のためスタジオの人数は最大 8 名とします。また、環境サロンの当日、Zoom の URL が届いていないなどのトラブルがありましたら、中西までご連絡下さい。

**中西 聡**

[nskjmf-mw@jcom.zaq.ne.jp](mailto:nskjmf-mw@jcom.zaq.ne.jp)

080-5075-4870

以上